

(5)心にゆとりを感じるまちづくり

環境美化推進事業

3,000千円

(担当:環境整備課)

きれいで快適なまちづくりを推進するため、地域に密着した環境美化活動に取り組んでいる「公衆衛生推進協議会」の活動を引き続き支援します。ごみステーションの維持・管理をはじめ啓発看板の配付や花いっぱい運動などの事業への取り組みを支援します。

地域不法投棄対策事業

11,558千円

(担当:リサイクルセンター)

地域の快適な生活環境を守るため、自治会連合会、公衆衛生推進協議会、警察署及び庁内関係課との緊密な連携を図るとともに、地域住民の皆さんの協力を得ながら、不法投棄防止の諸施策を積極的に推進します。

このため、不法投棄の防止に向けた広報・啓発活動や監視パトロールの強化、既設の監視カメラの設置効果等の検証による計画的・実効的な増設などに取り組みます。

また、公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

ごみ減量化・資源化促進事業

16,420千円

(担当:リサイクルセンター)

一般家庭から排出されるごみの減量化を図ることなどを目的に、平成25年10月から「もやすごみ」及び「粗大ごみ」にごみ処理手数料を導入しました。今後、ごみを出さない（リデュース）、ごみを再使用する（リユース）、ごみを資源として再生利用する（リサイクル）の3Rの実践について、広く周知・啓発するなどの取り組みを積極的に推進します。

具体的には、「ごみ収集カレンダー」や「家庭ごみの分別ガイド」を活用しての適正な分別の徹底や資源としての有効活用について、市広報への掲載などを通じての働きかけや生ごみ処理容器の普及・促進などにより、家庭ごみの減量化に取り組めます。

市民文化講演会

1,620千円

(担当:生涯学習課)

現代社会における課題や大竹市が抱える課題の解決のヒントになるような講師を招き、今後のまちづくり・ひとづくりに繋がる講演会を行います。

小方学園プール開放事業

2,975千円

(担当:生涯学習課)

小方学園の屋内プールを広く市民に開放し、市民の健康増進と水泳振興を図ります。